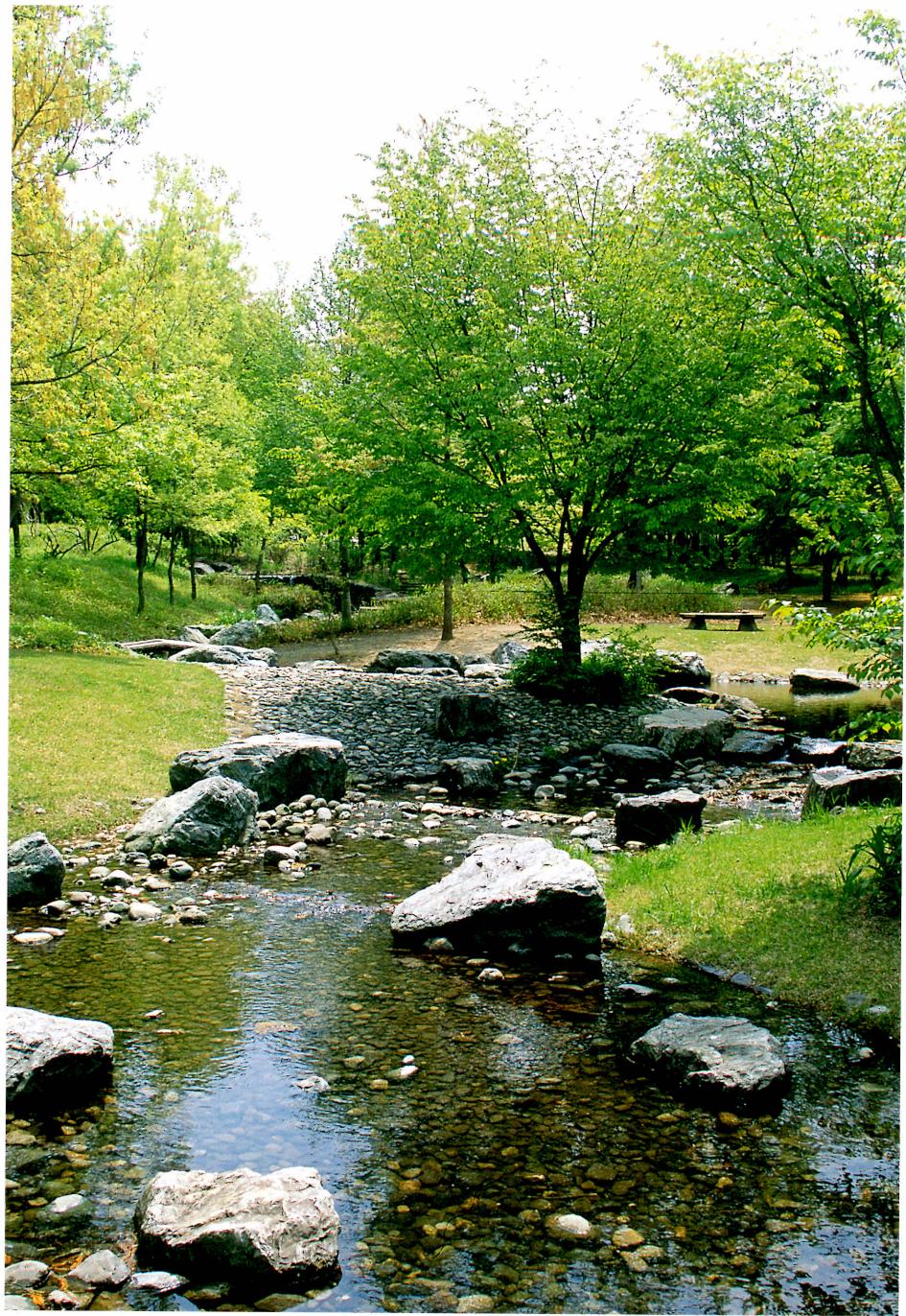


国際ソロプチミスト山梨

30周年記念誌



Soroptimist
International of Yamanashi



30周年記念植樹先 山梨県森林公園金川の森（笛吹市）



ソロプチミスト誓約

私達はソロプチミストとしてソロプチミズムに忠誠を誓い

真摯なる友情

偉業達成の喜び

奉仕の尊さ

誠実な職業

國土愛

などを強調する、その理想に忠実に従います。

私達は最善をつくしてこれらの理想を促進し、支持し、擁護し、

家庭、社会、実業界に於いて、より大きな友情を築き、

国家のため、神のために努力いたします。

国際ソロプチミストアメリカ連盟 会長よりの祝辞



2005-2006年期 SIA 会長
ジーン・バース



Soroptimist International
of the Americas
1200 Spruce Street

May 13, 2006

Masako Kusama, President
Soroptimist International of Yamanashi
522 Ichiba-jiwa-machi
Higashiyatsubiro-gun
Yamanashi 406
Japan

Dear President Masako:

Congratulations to you and the members of Soroptimist International of Yamanashi as you celebrate your thirtieth anniversary. On behalf of the Board of Directors of Soroptimist International of the Americas, I extend our best wishes on this occasion.

The members of Soroptimist International of Yamanashi have long been engaged in service activities which meet the needs of your community and also have actively participated in international projects as members of our international organization. These have included projects for women around the world, and your club has played an important role in the achievement of the of the Soroptimist organization. The SIA Board of Directors deeply appreciates and is proud of, the efforts made by your members.

Your years of service are testimony to your proud tradition of serving others, promoting the best for women in your community and the world at large. It with great admiration that we add our congratulations for your enthusiasm & commitment to the Soroptimist organization. Thank you for the countless hours and many tasks for which you volunteer and please accept our very best wishes for this very special occasion.

Sincerely,

Jean Barth

Jean Barth, President
Soroptimist International of the Americas



Soroptimist International
of the Americas
1200 Spruce Street

2006年5月13日

国際ソロプチミスト 山梨
会長 風間 雅子 様

国際ソロプチミスト山梨認証30周年をお迎えになり誠におめでとうございます。連盟理事会を代表致しまして、心よりお祝いを申し上げます。

国際ソロプチミスト山梨の会員の皆様には、地域のニーズに応えた奉仕活動を長年に亘り継続されるとともに、国際組織として数々の地球規模の活動に積極的に参加されました。これ等の活動は、世界中の女性達に変化をもたらし、国際ソロプチミストアメリカの目標達成に大いに貢献すると共に、重要な役割を果たしてこられました。連盟理事会は、会員の皆様のご尽力に対して、心からなる感謝と賀りを感じる次第であります。

皆様が長年ソロプチミストの会員でいらっしゃることは、他の人に奉仕するという誇らしい伝統を承継するという心の証であり、皆様方の地域社会ひいては世界において「女性にとって最良」の状態を推進することを意味します。私どもはこの機会に、祝意のみならず、皆様方の国際ソロプチミストの活動に向けられる情熱と責任感に大いなる賞賛を加えたいと思います。皆様方がボランティアにかけている膨大な時間とご尽力に感謝するとともに、この記念すべき機会に皆様方のご多幸をお祈りしたいと存じます。

国際ソロプチミストアメリカ
会長 ジーン・バース

祝詞



山梨県知事 山本 栄彦

国際ソロプチミスト山梨が、認証30周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

皆様には、国際親善をはじめ青少年の健全育成、環境美化、福祉活動、女性の地位向上など、様々な分野で熱意溢れる幅広い活動を展開され、地域社会の発展に大きく貢献されているところであります。

また、認証20周年を契機に、タイ東北部ノンカイ県の女子職業訓練所にミシンなどの機材を贈呈する支援を始められ、その後引き続いて訓練所の増築費の寄付を行っていると伺っております。

現地での交流も行なながら、タイ国女性の経済的自立を支援するこれらの取り組みは、地元の農業振興にも繋がる活動として、極めて大きな意義を有するものであり、永年にわたる御尽力に対し深く敬意と感謝を表するものであります。

さて、人口減少社会の到来が現実のものとなる中で、この問題に適切に対応していくためには、少子化対策や、男女共同参画の社会づくりと併せて、活力のある地域づくりに社会全体で取り組む必要があります。このため、県民や企業、ボランティア団体やNPOの皆様とともに、皆が幸福を感じられる社会づくり、そうした「協働の社会」づくりを強力に進めていく考えであります。

国際ソロプチミスト山梨の皆様には、奉仕の精神に則った様々な活動を通じて、今後とも、こうした地域社会を創造するための県政の推進に、格段の御協力をお願い申し上げます。

結びに、国際ソロプチミスト山梨の更なる御発展と、会員の皆様の益々の御健勝、御活躍を祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



甲府市長 宮島 雅展

国際ソロプチミスト山梨が認証30周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

国際ソロプチミスト山梨におかれましては、すべての人々の人権の確立と女性の地位向上という崇高な理念を掲げられ、国内外において様々な奉仕活動に取り組まれておられますことに、衷心より敬意を表する次第であります。

また、昨年は、30周年記念事業の一環として、甲府市北部幼児教育センターに木製の野外遊具のご寄付をいただきなど、本市社会福祉事業にも大なるご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、急激に進む少子・高齢化社会を、より活力に満ちた豊かな社会にするためには、男女が対等なパートナーとして社会のあらゆる分野に参画し、喜びも責任も分かち合う男女共同参画社会を実現することが重要であります。そのためには、一人ひとりが日常生活を見直し、社会通念や慣行などを見直していくという意識改革が必要であります。

こうしたことから、本市におきましては、誰もが共に輝く中で、豊かさを実感でき、男女が共に生きることができるまちづくりに取り組んでいるところであります。今後におきましても、市政に対しまして皆様方の積極的なご参画と、お力添えをいただきますようお願い申し上げます。

結びに、この認証30周年という大変意義深い節目を契機に、国際ソロプチミスト山梨の益々のご発展と、皆様方のご活躍・ご健勝を心より祈念いたしまして、お祝いのことばといたします。

祝詞



日本東リジョンガバナー
浜田 映子

国際ソロプチミスト山梨の会員の皆様、認証30周年を迎えられ誠におめでとうございます。1976年、山梨県最初のソロプチミストとして輝かしい一步を踏み出され、ここに30年の貴重な歴史を刻んでこられました。日本におけるソロプチミスト黎明期において、奉仕の尊さ、女性の地位向上を掲げられ、今日を築かれましたことは、誠に意義深く、偏に皆様のたゆみないご努力ご活躍の賜ものと心から敬意を表します。以来、ソロプチミスト精神に則り、教育、人権、環境、国際親善等幅広い分野にわたり、数々の奉仕活動を実践してこられ、地域にやさしいまなざしを届け多くの共感を得てこられました。

また、海外にも視野をひろげられ、その視点の確かさには深い感服を覚えます。ひとつに、タイ国ノンカイ県尼僧会女子職業訓練所を中心とした支援活動がありますが、現地女性の自立をうながしただけでなく生活の向上の獲得にもつながりました。届けられたミシンで作られた製品は今も私の愛用品となっております。

他にも新クラブの認証を通してソロプチミストの発展拡張に貢献、Sクラブ助成を通じ高校生に奉仕の機会を提供、プロジェクトや顕彰活動に対しても率先協力を惜しまず、どれもが光彩を放ち見事な成果を納めてこられました。こうした30年の伝統を誇りとなし、地域との連携を益々深められ、さらなるクラブのご躍進を願い、あわせて会員皆様の健やかな日常を祈念し祝詞いたします。



財団法人ソロプチミスト日本財団理事長
山下 淑子

国際ソロプチミスト山梨には本年認証三十周年をおむかえになり、多くの方々の祝福を受けて記念式典を開催なさいました。皆様のお慶びに心からお祝いを申し上げます。

1976年、百花咲き乱れる4月、貴クラブは誕生されました。この年は丁度日本のソロプチミストがリジョンとしての資格を認められ「日本リジョン」に昇格した記念すべき年でもございます。しかし、まだまだ多くの会員はソロプチミストの機構も規約も十分に理解できず、ただただ「ソロプチミスト」への情熱を燃やして活動していた時代と云えましょう。

それから三十年という長い月日の間、皆様は優れた多くの人材にも恵まれ、たゆまぬ御努力の上にすばらしい働きをお続けになり、今や東リジョンのリーダーとして恥ずかしくない立派なクラブに御成長なさいました。地域に密着した御奉仕は勿論のこと国際的にも幅広く御活躍のさまざまを拝見し、皆様の活動力、あふれる情熱に敬意を表するものでございます。

又、ソロプチミスト日本財団へも設立当初から続けて御貢献賜りましたことに財団を代表いたしまして心からの御礼を申し上げます。

社会の情勢はますますきびしく述べ、私達の奉仕の力は大きく求められております今、和の心を大切に真摯なる友情のもとに困難を克服し、三十周年を機にますます御活躍下さいますよう願って止みません。

挨拶



国際ソロプチミスト山梨 会長
風間 雅子

国際ソロプチミスト山梨は、緑の風がさわやかな5月13日、認証30周年記念式典・祝賀会を開催いたしました。多くのご臨席を賜りましたことは、会員にとってこの上ない喜びでございます。皆様に心から御礼申し上げます。

30年の歳月は、チャーターメンバーの御努力が実を結び、ソロプチミストの掲げる人権や女性の地位向上から、国際親善と理解、世界平和を願いながら優しいまなざしを社会に向ける活動など、幅広く展開できました。

中でも、クラブとして誇りにできる活動のひとつに、タイ東北部にあるカトリック尼僧会運営の「女子職業訓練所」への支援活動があります。海を隔ててこのような事業が出来ましたのも、ソロプチミストの組織力と会員皆様の奉仕に対する熱い思いがあったからだと確信しております。

様々な活動を通じて会員相互の友情を育み、奉仕の喜びや尊さを実感し、心地よい幸せを抱くことができました。30周年を機に山梨クラブの伝統に恥じぬようソロプチミストの基本を大事にしながら、時代に即した新しい活動を開発できればと考えます。

私共にかかわりを持つ全ての方々のこれまでの御協力に対し心から感謝申し上げたいと存じます。



国際ソロプチミスト山梨
30周年実行委員長
橋田 禮子

認証30周年記念行事を終える事が出来、記念誌発行の段取りになりました。2年前から今期の東リジョンテーマ『女性と女児が安全に暮せる社会をめざして』の内容を中心と計画致しましてまいりました。

山梨県・甲府市・甲斐市・甲州市・笛吹市・山梨市及びN P O 法人ボランティアセンターへ、記念寄付致しました。“女性の輝く時代今私達に出来る事は何か”のテーマで櫻井よしこさんに記念講演をお願いいたしました。10年来交流を続けているタイ国尼僧会運営の女子職業訓練所へセミナーハウス・ダイニングルーム各一棟寄贈いたしました。生産品の販路の援助、式典での記念品として刺繍入りの手提袋を注文・その他奨学金等々、2006年3月に会員の代表が現地を訪問シスター方の献身の努力の大きい事を再確認してまいりましたとの報告に援助の役割の継続を痛感しました。

この中間報告を東リジョン20周年記念プロジェクトⅡに応募、国際の部で最優秀賞をいただきました。プロジェクトⅠでは愛・地球博の最終日に「タイ・山梨の子供達が同時にHAND IN HANDを行いました。5月13日式典・祝宴を差なく終了出来会員一丸となってこの目標を達成出来ましたことは生涯忘れられないと思います。この感激をステップにますます精進致して参りますので一層のご支援ご協力を賜ります様お願い申し上げます。

認証30周年記念式典・祝宴



5月13日 於 甲府富士屋ホテル



風間会長 挨拶



雨宮節子 会員 30年皆勤例会出席 360回





日本東リジョン役員・地区役員を囲んで



呈茶席



Sクラブスポンサー 湯田高校生の演奏



天野式典委員長 挨拶

30周年記念事業

寄付

◎パイプ椅子

県ボランティア協会にパイプ椅子100脚を贈りました。普段から奉仕活動や会合で利用している県ボランティアNPOセンターの椅子が老朽化していることから、感謝の意味も込めて寄贈しました。



◎卓球用品

山梨県国際交流センターに於いて20年来継続しているワールドクリスマス会が開催され、ソロブチミスト杯卓球大会が行われました。卓球台、卓球用具、賞品等を寄贈しました。



◎レッドハウス

甲府・北部幼稚教育センターに野外用の木製遊具（デンマーク製）を寄贈しました。家型の遊具で、中にはベンチやテーブルがあります。



イベント

◎櫻井よしこ氏講演会

9月12日、県立文学館に於いてジャーナリスト櫻井よしこさんの「女性が輝く時代ー今、私達に出来る事は何かー」の講演会を開催、500名を超える皆様にご参加を頂き、知識豊かなご講話を拝聴致しました。

女性も自信を持って前進すべきである云う、力強いエネルギーをいただき、実りある講演会を持つ事が出来ました。



◎チャリティーディナーショー

11月25日、甲府富士屋ホテルに於いて、中島啓江さんのチャリティーディナーショーを開催致しました。お話しからは、日頃ボランティア活動にご活躍の様子がうかがわれ、580名のお客様の絶大なる拍手に包まれ、感動的な時を過ごしました。



記念植樹

◎植樹祭

3月15日、認証30周年を祝い、笛吹市一宮町にある、山梨県森林公園「金川の森」へ記念植樹を行いました。県の森林環境部の来賓の方々及び金川の森管理事務所の方達と会員一同が揃い、会長より目録が手渡され、厳粛な内にも盛大な式典となりました。

「江戸しだれ桜」の大木を中心に植え、ネムノキ、ウラジロガシ、アカガシ、ウバメガシ等を植えました。標柱には「国際ソロプロミスト山梨」の名と共に、「百年後の森づくりを目指して」と書いて頂きました。葉が繁った木影を幾組かの親子が遊ぶ姿を思うと、胸のふくらむ思いが致します。



HAND IN HAND

9月25日(日) 森林公園金川の森に於いて、朝10時から“HAND IN HAND”を行いました。

当日は天候にも恵まれ、湯田高校Sクラブ・ガールスカウト・ボイスカウトの子供達が中心となり、総勢およそ80名が参加し、ブナ科の木を合計50本植樹しました。タイに於いても、山梨クラブが10年前より支援を続けている、ノンカイ県女子職業訓練センターに“HAND IN HAND”的趣旨を事前に伝え、横断幕を送り、その地域に適した苗木を用意して頂きました。そして同日、同時にその地域の子供達が中心となり、総勢およそ40名がマンゴーとフェニックスの苗木を10本ずつ植樹しました。



10年のあゆみ（タイ国ノンカイ県女子職業訓練所への支援）

20周年記念行事として、タイ国ノンカイ県にある女子職業訓練所に、援助品をお届けに行ってまいりました。タイ行きの希望者を募り7名が手を上げました。その中の一人は、入会して一年にも満たない私でした。自分の目で現地を見たいと思った時は私の右手は高々と上げられていたのです。空港で出迎えを受け車で現地へ向かいました。先ず驚いたのが、乾季の為堅い固まりとなっている農地と、肋骨も露な牛達が無気力にただ時間の流れに身を任せている姿でした。道行く人は殆どが素足で、貧しさが淀んでいるように感じました。職業訓練所に到着し尼僧会の皆様をはじめ多くの人達の歓迎を受け、所内を案内していただきました。入所間も無い人たちでしょうか、コンクリートの床にむしろ敷き足をなげ出して座り上手に刺しゅうをしていました。その姿から、手先の器用さと根気強さを感じました。素朴ではにかみやの大夫人に比べ、子供達は無邪気で活発、眼がキラキラと輝いていました。この援助がお役に立つ事を信じて帰路につきました。

あれから5年、25周年を迎えた折、再びタイ訪問に参加いたしました。空港からの風景はあまり変わればえはありませんでしたが、訓練所に着いた時感動で体が震えました。施設は何倍かに拡張され、庭は心が癒されるよう心配りがあり、ご自分で汗して作ったものだと感じました。施設の中では多勢の若い女性達が生き生き作業をしていました。デザイン・裁断・縫製・仕上げとそれぞれの部屋で行われ、これは定かではないのですが美しい布を織っている部屋もあったと思います。この施設からちょっと離れた所には可愛らしい建物もありました。この中には生まれながらにしてエイズに感染している子供達が、自分の背負っている運命も知らずに明るく遊んでいました。この悲しい現実にも愛の手が差し伸べられていました。

その中で、いつも物静かでほほ笑みをたたえながら活動しているスター達は少しも変わっていませんでした。このスター達と係る事の出来た幸せ、少しでも援助の手を差し伸べることが出来た事に、神に感謝せずにいられませんでした。



1996年植樹 パパイヤ



1996年に寄贈したミシン



山梨クラブがタイ・ノンカイ県の小さな村へ支援を行うようになって10年、3回にわたって職業訓練所、集会所、食堂など大きな寄付をしてまいりました。

今回現地へ行ってみて感じた事は、ある程度の施設は整って来ましたし、そこで働いている人達も何とか生活が出来るようになってきました。

これからは貧しさの連鎖をここで打切りにするために、奨学金制度を充実させて、貧しくて学校へ行かれない子供達に教育の機会を与えてあげたいと思いました。



2006年3月 訪タイ



10年前に植樹したパパイヤが
たくさんの実をつけていました。



寄贈したセミナーハウス

受賞と表彰

2006年 日本東リジョン20周年記念プロジェクトⅡ「女性と女児にやさしいまなざしを」国際の部 最優賞
ヴァイオレット・リチャードソン1位入賞 雨宮優子さん（山梨大学附属中学校3年生）

小学3年の時に、大型紙芝居の作成・上演をする「さくら座」に入団したことは、雨宮さんにとって大きな自信と勇気を持たせてもらい、長崎で犠牲となった原爆少女の話「かよ桜」の制作にかかわった頃から、命の大切さを人々に伝える使命感が芽生えました。2003年8月9日、長崎市の伊藤市長より長崎市平和記念式典への機会をいただき、日本各地はもとより多くの外国からの人々と共に世界平和を願う気持ちをより一層強く抱きました。地味な活動ではありますが、地域の子供達と関わりながら自分に可能なことを目指し進む姿は貴重な取り組みと評価されました。



1980年	婦人向上賞	中丸 静子さん
1981年	青少年ボランティア賞	種田恵美子さん
1983年	婦人向上賞	戸泉恵美子さん
	青少年ボランティア賞	篠原佐智子さん（県立高等看護学院生）
1984年	青少年ボランティア・グループ賞	市立甲府商業高校インタークト
	婦人向上賞	小林 昌代さん
1985年	青少年ボランティア・グループ賞	私立山梨英和高校ひまわりグループ
	青少年ボランティア賞	窪田 久美さん（私立甲府湯田高校生）
1986年	青少年ボランティア・グループ賞	私立山梨学院大附属高校
	青少年ボランティア賞	岡島 リカさん（私立甲府湯田高校生）
1987年	日本財団国内賞	どんぐり牧場（大月市）
	W·H·W賞	久保田きぬ代さん
1988年	青年市民賞	古屋千香子さん（県立甲府西高校生）
1989年	訓練練賞	小林ゆきみさん
1990年	婦人向上賞	石田 浩子さん
1992年	青少年ボランティア・グループ賞	県立高等看護学院図書ボランティアグループ
1993年	訓練練賞	野見山桂子さん
1994年	W·H·W賞	田ヶ谷幸子さん
1995年	青少年ボランティア賞	大村 祐司君（県立日川高校生）
1997年	人権女性の地位向上成功を祝うソロプロチミスト表彰プログラム優秀賞	「タイ農村女性の自立援助」
1998年	フォーカスレポート（東リジョンユースプロジェクト）	
1999年	青年市民賞 雨宮俊君（駿台甲府高校3年）	
2000年	ヴァイオレット・リチャードソン1位入賞 鈴木一菜さん（英和中学校3年生）	
	中学からボランティアクラブに所属。施設訪問や老人との交流活動を続けるとともに、中・高校時代に「緑のやまなし甲府隊」の一員として、中国クブチ砂漠への植樹活動に参加。ボランティアを通じ、人生の目標を持つことの大切さを教わり、出会った仲間はかけがえのない存在になっています。	
2001年	環境貢献賞 緑の協力隊・やまなし甲府隊（代表 武藤正孝）	
	「やまなし甲府隊」はNGO「日本砂漠緑化実践協会」の趣旨に賛同し、平成10年から中国内モンゴル蒙古自治区クブチ砂漠で植樹を行ってきました。設立の目的は地区規模での環境ボランティアへの参加を貢献。民間の日中友好、そして砂漠緑化を通しての環境教育と青少年教育。活動4年目7月から中・高校生ら20名、第4次隊を編成し、植林活動を展開しました。帰國後、学生を中心に、身近な環境を考える活動も広がっています。	
2002年	社会人部 社会人部 花輪とめじさん	
	花輪さんは昭和20年、戦火を逃れ東京から医療鍼灸師であった山梨県中巨摩郡に移り、内科・小児科を開業して56年になります。当時、風土病の日本住血吸虫症が蔓延しており、撲滅のために公衆衛生の普及にあたりました。また、医療ボランティアをライフワークとしている歯科医師の夫と共に、山間僻地の医療無料検診にも頻繁に参加しました。90歳を超える現在も町医として老人ホーム、保育園、幼稚園の嘱託医を務めています。動ける間は患者がいる限り診るを信条に、地域医療に貢献しています。	
2003年	ヴァイオレット・リチャードソン入賞 小田切智子さん（駿台甲府高校2年生）	
2005年	環境貢献賞 ユートピアこうふ緑の会（代表 青木のり子）	
	平成4年に新聞で、「生ごみで花の街づくりを」という記事を目にした代表の青木さんは、生ごみの減量が環境改善に繋がることを知り、翌年EM（有用微生物群）ボカシを利用した活動を始め「ユートピアこうふ緑の会」を発足しました。同会では、EMを地域の小・中学校に提供して、ブルーレビオトープの浄化、給食残渣で作った堆肥を利用した花壇づくり、廃油石鹼づくりなどをを行い、青少年の環境教育にも貢献していました。また、農家と共に自然農法実践し、地域住民においしく安全な作物を提供してきました。今後は、行政にも働きかけ河川や池の浄化にも取り組みたいと尽力されています。	



94歳の今も現役です。

ユースフォーラム

1999年 テーマ「21世紀を生きる・・・私たちの抱負」
滝瀬 由実さん（山梨学院大学附属高等学校）

2001年 テーマ「21世紀の〈子供 いのち くらし〉を考える」
中村 夏希さん（山梨英和高等学校） 伊藤 彩香さん（甲府湯田高等学校）
江原 瑞貴さん（山梨学院大学附属高等学校）

2003年 テーマ「わたしたちのコミュニケーションを考える」
ペイド アビシェイクさん（山梨学院大学附属高等学校）

2005年 テーマ
1 他者へ やさしいまなざしを！（山梨学院大学附属高等学校ホール）
2 自然へ やさしいまなざしを！
3 世界へ やさしいまなざしを！
長谷川えりかさん（山梨学院大学附属高等学校）
武井 悠里さん（山梨学院大学附属高等学校）
グッショウ春美さん（山梨英和高等学校）



山梨予選会



20周年記念洋洋上ユース・フォーラム

継続寄付・奉仕事業

- ・タイ ノンカイ県女子職業訓練所
- ・タイ ノンカイ県ハイスクール生徒奨学金
- ・湯田高校生徒奨学金
- ・湯田高校Sクラブ活動費
- ・山梨県ボランティア協会寄付
- ・山日新聞厚生文化事業団寄付
- ・テレビ山梨厚生文化事業団寄付
- ・NHK助け合い寄付
- ・NHK海外助け合い寄付
- ・(財)山梨県緑化推進機構「緑の募金」
- ・(財)山梨県臓器移植推進財団
- ・ガールスカウト山梨県支部特別賛助金
- ・チャリティーラン寄付
- ・いのちの電話
- ・日本フォスター・プラン協会支援金
- ・日本野鳥の会
- ・山梨県障害者福祉ふれあい会議
- ・山梨県女性団体協議会
- ・赤い羽根
- ・山梨県国際交流協会

- ・独立行政法人国立病院機構甲府病院重度心身障害者病棟
おむつたたみ おむつ用布寄付
納涼会・クリスマス会・運動会等のお手伝い
- ・山梨ともしびバザー
- ・山梨県ボランティア協会大掃除
- ・つくしの家
- ・めだかの学校
- ・日本財団維持費
- ・国際会長アピール
- ・国際4年期プログラム
- ・連盟災害救援募金
- ・日本東リジョンチャリティー
- ・難民救済
- ・リジョン災害救援金
- ・クラブキャンペーンSIアメリカ寄付



国立病院おむつたたみ

会員活動の和



チャリティーバザー



認証10周年を記念して作った森をずっと守り続けています。



琴川ダム研修風景



歴代正副会長

	会長	副会長	
1976.4~1977.6	天野よし子	萩原 秋子	今井 温子
1977.7~1979.6	田辺千枝子	萩原 秋子	今井 温子
1979.7~1980.6	今井 温子	早川 えみ	高野 照子
1980.7~1982.6	田辺千枝子	小宮山房子	橋田 禮子
1982.7~1984.6	小宮山房子	橋田 禮子	野口 富子
1984.7~1986.6	早川 えみ	天野 やき	上原 桂子
1986.7~1988.6	天野 やき	雨宮 節子	壬生倉紀子
1988.7~1990.6	橋田 禮子	小尾 栄	椎貝 正子
1990.7~1992.8	雨宮 節子	飯田 節子	入倉美奈子
1992.9~1994.8	飯田 節子	風間 雅子	
1994.9~1996.8	上原 桂子	小宮山美知子	▲
1996.9~1998.8	風間 雅子	若月 絹子	
1998.9~2000.6	上原 桂子	中村けさ代	
2000.7~2002.6	三井 仁代	細田ふたば	
2002.7~2004.6	入倉美奈子	砂田 治子	
2004.7~2006.6	風間 雅子	飯島 朱美	

2006年度 新入会員紹介

この度は、国際ソロプチミスト山梨のお仲間に入れていただきまして有難うございます。「奉仕の精神」を私なりに平易に解釈いたしますと、自分がして欲しいと思うことを他人にしてあげること、一それも、さりげなく心を込めて…。一 ではないかと思うのです。果たして私がどれ程のことが出来るか分かりませんが、一步を踏み出したいと思います。

どうぞ、よろしくお願ひ致します。

菅沼 英子



国際ソロブチミスト山梨 会員名簿

秋山桂子	大友千賀子	望月淑子	砂田治子
天野さき	加賀美通子	中丸輝江	菅沼英子
雨宮和子	風間雅子	中村け代	高村美智子
雨宮節子	橋田禮子	成澤洋子	田辺文子
網倉千恵子	木内ふじ子	名取久子	谷沢佐知子
桧垣節子	岸本敏江	野口美代子	寺田岸子
飯田節子	小林隆子	小澤房子	手塚淳子
飯島朱美	小宮山美知子	坂本美知子	富山美由紀
井上昌子	三科典子	島津典子	上原桂子
入倉美奈子	三井仁代	新海勝子	矢崎京子

〔日本東リジョン人権／女性の地位委員〕上原桂子

〔会長〕風間雅子

〔アシスタントトレジャラー〕小林隆子

〔副会長〕飯島朱美

〔理事〕入倉美奈子 小宮山美知子

〔セレクタリー〕高村美智子 木内ふじ子

〔テレゲート〕砂田治子 矢崎京子

〔トレジャラー〕三科典子

《プログラム委員会》

委員会名	委員長名	委員					
経済的社会的開発	中丸	秋山	飯田	三井	田辺		
教育	寺田	入倉	木内	大友	谷沢		
環境	桧垣	野口	富山	上原	矢崎		
保健	井上	天野	岸本	中村	手塚		
人権／女性の地位	橋田	雨宮(和)	雨宮(節)	小林	望月	島津	
国際親善と理解	小澤	網倉	成澤	砂田	高村		
ベンチャースポンサーシップ	飯島	新海					
シグマ／Sスponサーシップ	坂本	加賀美	小宮山	三科	名取		

《テクニカル委員会》

委員会名	委員長名	委員					
財務	雨宮(和)	天野	飯島	田辺			
規約決議	三井	大友	望月	中村			
SOLT	入倉	橋田	木内	岸本	坂本		
メンバーシップ	砂田	雨宮(節)	井上	小林	中丸		
SIA奉仕資金	上原	飯田	成澤	小澤	新海		
ソロブチミスト日本財団	上原	飯田	成澤	小澤	新海		
広報	矢崎	桧垣	三科	寺田	手塚		
歳入	網倉	秋山	加賀美	谷沢	島津		
出席	小宮山	野口	高村	名取	富山		

認証30周年担当委員会

[会長] 風間 雅子

[実行委員長] 橘田 禮子

[記念式典・祝賀会担当委員会] 天野 入倉 雨宮(節) 坂本 新海 砂田 手塚 名取 菅沼

[事業担当委員会] 飯島 井上 大友 木内 岸本 小宮山 谷澤

[寄付先(講演会)担当委員会] 上原 綱倉 秋山 三科 中丸 成澤

[記念誌担当委員会] 飯田 矢崎 小林 望月 中村 寺田 島津

[記念植樹・ハンドインハンド担当委員会] 三井 高村 雨宮(和) 松垣

加賀美 野口 富山

[会計] 小澤 田辺

編集後記

1976年4月の認証以来、日頃の歩みを皆様に知っていただか為に10周年、20周年の節目に記念誌を発行してまいりました。30年の歳月は地道な活動を段々大きい幹にし、そして大きな木してくれました。まさに継続は力なりです。記念誌作りの中でメンバー全員が実感し、学ばせて頂きました。

発行にあたりまして、お祝辞、お言葉を頂きました皆々様に心より御礼申し上げます。

30周年記念誌委員会

広報委員会

飯田節子	矢崎京子
寺田岸子	三科典子
小林隆子	松垣節子
中村けさ代	島津典子

国際ソロップチミスト山梨 30周年記念誌

発行 2006年8月

発行者 国際ソロップチミスト山梨

編集 30周年記念誌委員会

印刷 株式会社 SPC